



2026年4月27日

各 位

上場会社名 日本鑄鉄管株式会社
 代表者名 代表取締役社長 石毛 俊朗
 (コード番号 5612)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 長谷部 圭一
 (TEL 03-3546-7675)

業績予想と実績値との差異 および特別損失の計上に関するお知らせ

2026年1月30日に公表いたしました、2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)の
 通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異に関し、下記の通りお知らせいたします。

あわせて、2026年3月期連結会計期間において、特別損失を計上いたしましたのでお知らせいた
 します。

記

●連結業績予想と実績値の差異について

2026年3月期通期連結業績予想と実績値の差異(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,000	230	230	0	0.00
今回実績値(B)	15,942	258	215	91	28.39
増減額(B-A)	△2,058	28	△15	91	28.39
増減率(%)	△11.4%	12.2%	△6.5%	—	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	16,933	260	267	△230	△71.70

差異が生じた理由

売上高は、おもに需要環境の悪化に伴う鑄鉄管の販売数量減少や価格低下等により、前回発表予想
 を下回りました。

一方で営業利益は、前回発表予想を上回りました。高収益品の拡大や経費の低減、グループ会社の
 収益増等により鑄鉄管の売上高の減少を挽回した事によるものです。経常利益は、金利の上昇に伴う
 支払利息増等により前回発表予想を下回りましたが、営業利益の好転により減少幅は小幅に留まりま
 した。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を上回りましたが、後述の設備休止等に関する
 固定資産の除却損失について、処理費用等を精査した結果、想定を下回ったこと等によるものです。

●特別損失の計上について

2026年3月期連結会計期間(2025年4月1日~2026年3月31日)において、電気炉の生産稼働開始・
 100%電気炉化に伴うキュポラ炉停止や、製造合弁会社の設立に伴うダクタイル鉄管(直管)の生産能
 力増強工事に対応した固定資産の除却損失として、特別損失に73百万円を計上いたしました。

2026年3月期第3四半期連結会計期間までに、製造合弁会社設立準備に伴う受取精算金として特別
 利益に計上した165百万円等とあわせ、特別損益は合計で96百万円となります。

なおこの影響は、上述の2026年3月期の通期連結業績に含まれております。

以 上